

レポート

常任委員会

総務厚生

人間ドック室にトイレ増築

6月11日に本委員会を開催し、(有)ケイエスしらたかの平成21年度事業報告

- ・ 過疎計画の策定スケジュール
 - ・ 平成21年度収納状況
 - ・ 保育所の民営化
 - ・ 臭気対策の状況
 - ・ 一市三町のし尿処理
 - ・ 人間ドック室などの整備状況
- について所管事務調査を行いました。

過疎計画は、町政座談会やパブリックコメント並びに振興審議会・計画策定町民会議等を開催し、12月には基本計画を決定したいと説明がありました。

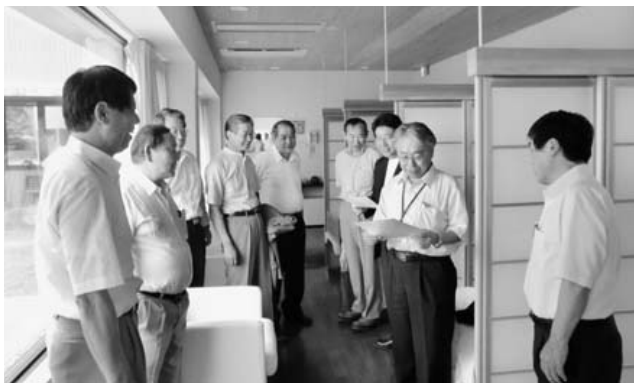
委員から、過疎債による投資的経費の額を年間の程度見込んでいるのかという問いに、行財政計画の上からも約5億円程度を計画していると答弁がありました。

保育所の民営化は、保育所運営検討委員会を設置し、7月2日に初回の会議（5回開催予定）を行い、各地で座談会を行いながら、11月頃には方向性を決定したいとの説明がありました。

し尿処理施設については、西置

賜一市三町で整備していく方針であると説明を受けました。

人間ドック室などの整備状況は、トイレ増築工事が終了。病院本体から独立しているため、感染症の発生や災害などの非常時には、ドックを休止し、救急医療に対処するとの説明を受け現地視察を行いました。



現地視察（白鷹町立病院）

議会活性化特別委員会

中間報告

最終日に、委員長から「議会を活性化させるための調査研究」の中間報告がありました。

- 一、政策提言のあり方
- 二、情報公開のあり方
- 三、議会審議のあり方
- 四、議員として

の項目については、課題と現状認識の整理ができ、今後における調査や検討すべき課題が明らかになったので、その経緯と結果についての内容でした。

そのなかで議員定数について、委員会の構成、住民の多様な意見の反映という面からみて、現在の定数が限界に近いという意見がありました。

議会活性化対策に取り組んだ大石田町議会を視察研修し、9月定例会の最終報告に向け研究をすすめるとしています。



視察研修（大石田町）